



ふくしま子ども・ 女性医療支援センター

福島の女性が安心して子どもを産み、育み、健康な一生を過ごせることをめざして



安心して子どもを産み、 育てられる福島県へ



ふくしま子ども・
女性医療支援センター
センター長
高橋 俊文

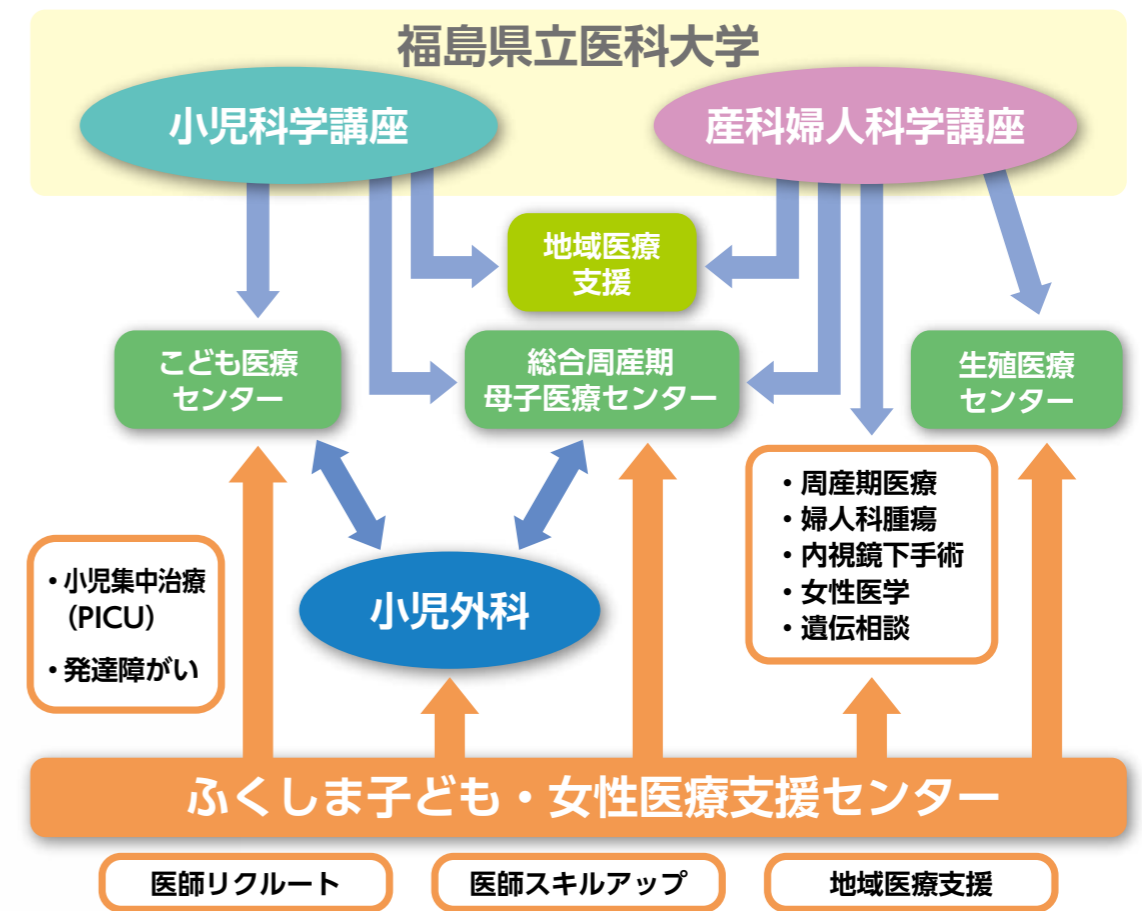
福島県は、慢性的な医師不足や医師の偏在を解消するために、福島県立医科大学内に福島県地域医療支援センターを設置し、県内への医師定着を促進する事業を展開してまいりました。

特に周産期医療に関わる、産婦人科、小児科医師が不足していましたが、2011年の東日本大震災をきっかけに状況はさらに悪化しました。このような状況を打破するため、県の委託を受け、2016年4月、福島県立医科大学に「ふくしま子ども・女性医療支援センター」が開設されました。初代センター長には水沼英樹先生が着任し、2020年11月からは高橋が2代目のセンター長を拝命しております。

ふくしま子ども・女性医療支援センターは、「福島県に住む女性が安心して子どもを産み、育み、そして健康な一生を過ごすための医療支援を行う」ことを目的に設立された、全国的にも例をみない only one の施設です。

小児科医、産婦人科医のエキスパートが県内医療機関の小児科・産婦人科の医療支援を行うとともに、妊娠の前段階から妊娠、出産、子どもの成長、女性の生涯にわたる健康を一貫して支え、子どもと女性の医療に携わる医師の養成を支援していきます。

福島県の小児科・産婦人科医療と センターの関わり

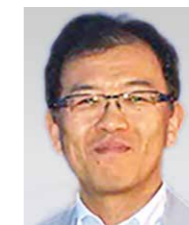


センターが取り組んでいる主な事業

医師リクルート	全国から小児科、小児外科、産婦人科のエキスパートをリクルートします 県内の小児科、小児外科、産婦人科専門医コースへのリクルートを支援します 全国の産婦人科専攻医の福島県内基幹病院での連携研修を支援します
医師スキルアップ支援 (人材育成)	県内の若手産婦人科医師の臨床指導・研究指導を行います 県内の研修医向けに小児科・産婦人科関連の出前講座を行います 県内の産婦人科医師のためにスキルアップ研修会・講演会を開催します
地域医療支援	県内の拠点病院への医師派遣を行います 県内の拠点病院の子ども・女性医療の診療支援を行います 発達障がい児の診断・治療に関する診療を支援します
卒前教育と学内医療支援	県立医大の学生教育をサポートします 学内の小児科、小児外科、産婦人科の診療支援を行います 学内の小児集中治療室 (PICU) の診療支援を行います
その他	県外学生を対象にした福島県内の周産期医療ガイダンス 県立医大の学生を対象にしたハンズオントレーニング 助産師外来の設立と運営に関する支援



細矢 光亮 教授
小児科学講座



藤森 敬也 教授
産科婦人科学講座



田中 秀明 教授
小児外科

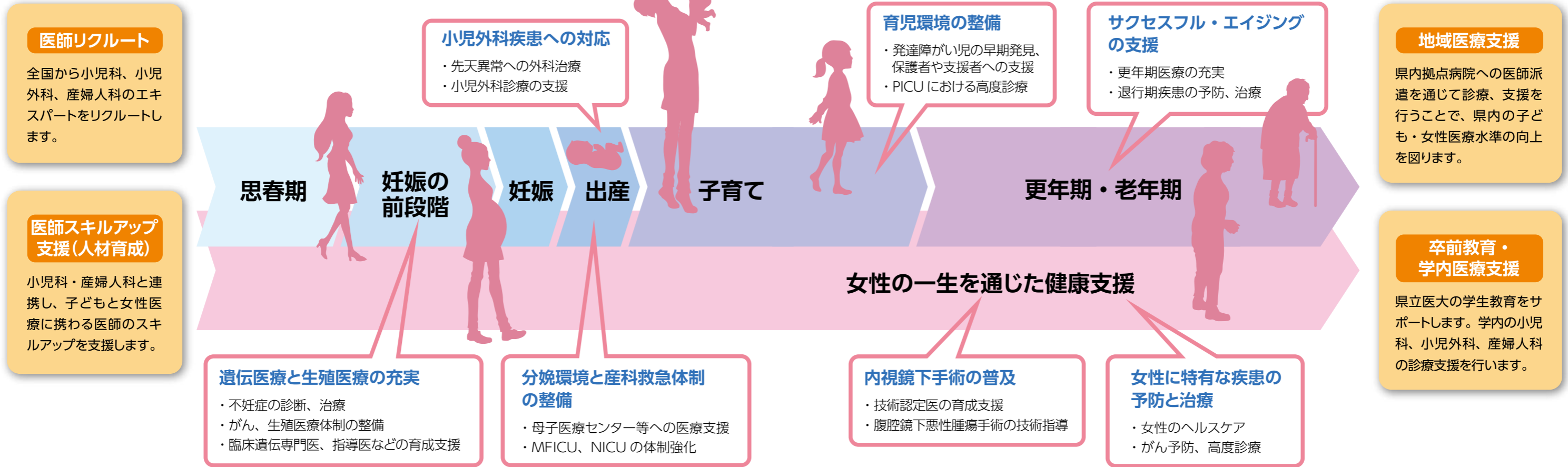
従来、福島県の小児科医療、産婦人科医療は福島県立医科大学小児科学講座、産科婦人科学講座が中心となって推進されてきました。それぞれの講座は、附属病院の中央診療部門である“こども医療センター”、“総合周産期母子医療センター”、“生殖医療センター”に人材を派遣し、また、県内の主要病院に教室員の派遣を行い福島県の県内の小児科医療、産婦人科医療を守りその向上に貢献してきました。

ふくしま子ども・女性医療支援センターはこれらの講座と密接な連携を図り、小児科部門では小児集中治療室 (PICU) の充実化や小児発達障がい児の診療と早期発見支援システムの構築を行っています。令和2年度からは小児外科医も加わり、周産期外科疾患の診療にも支援の範囲を広げています。

一方、産婦人科部門では周産期医療、生殖医療、婦人科腫瘍、内視鏡下手術、女性医学、遺伝相談などの分野での医療支援に加え、学生教育や専門医の論文指導の支援を行っています。

福島県に住む女性が健康な一生を過ごすための医療支援をしながら、安心して子どもを産み、育てる環境をつくります

小児科医・産婦人科医の招へいと定着とともに、小児科、小児外科、産婦人科が連携し、女性の一生を通じた診療体系を構築します。



昭和大学産婦人科より専攻医連携研修の受け入れをサポートしています。

貴重な体験や福島ならではの経験に日々成長

小倉 勇輝
専攻医2年目



こんにちは。昭和大学医学部産婦人科学講座2020年度入局の小倉勇輝です。専攻医2年目の2021年10月より専攻医地域研修として会津若松市にある竹田総合病院に勤務させていただいています。他県の医局からの派遣という立場ではありますが、福島県立医科大の先生方から同じ医局員のように日々優しく丁寧にご指導いただいています。

当院は福島県の西側の会津地域唯一の周産期センターということもあり、通院に1時間かかるような患者さんもいらっしゃいます。こういった点では私が今まで勤務してきた関東の病院とは異なるところかと思えます。婦人科外来や産科外来どちらも担当させていただいたり、あまり馴染みのなかった腔式子宮全摘術などの手術の見学などさせていただいたり大変勉強になります。婦人科の悪性腫瘍の症例も主治医のように対応させていただくなど、貴重な機会をいただいています。

病院スタッフや患者さんも含め、会津の方はおらかな方が多いので、とても職場環境としても恵まれていています。

また、会津という地域は福島県の中でも豪雪地帯なので、冬は今まで経験したことのない積雪量に少し戸惑いましたが、日本酒や馬刺しなど美味しいご飯も多く、ウィンタースポーツなどの仕事後の楽しみも充実しています。そんな福島県、会津での研修に興味を持たれた方はぜひ一度見学などにいらしてください。



2021年10月より竹田総合病院で研修

産婦人科4領域全てを経験できます

坂齋 健人
専攻医1年目



こんにちは。私は2021年10月より白河市にある白河厚生総合病院の産婦人科に勤務させていただいています。下郷町に母の実家があり、福島県には毎年のように訪れていたのですが、白河厚生総合病院で働くことが決まった時は赴任するのがとても楽しみでした。赴任当時は専攻医1年目で不安なことがたくさんありましたが、病院のスタッフの方々がとても親切で働きやすく、頼れる先生方の大きなサポートもあり仕事も少しずつこなせるようになっていきました。

当院は福島県の県南の産婦人科医療を担う病院であり、周産期医学・生殖内分泌学・婦人科腫瘍学・女性医学の4本柱全ての分野を学ぶことができます。私は白河に赴任して初めて産婦人科医として外来を持たせていただきました。産科外来の妊婦健診でお母さんに胎児の状態を説明したり、婦人科外来で初診の方の手術計画から術後のフォローや女性ヘルスケアに携わったり、とても充

実した経験を積ませていただいています。分からないことや悩むような症例がある場合はすぐに質問できる先生方がいる環境なので、少しずつですが着実にできることが増え、地域の皆様に貢献できているようになっていっていると実感しています。今後もさらに地域の皆様に尽力できるよう精進していきたいと思っています。

白河市は歴史・文化・自然の調和のとれた街ですが、自然に恵まれている一方で交通の便でも新幹線がありどこにでも便利に行けるためとても住みやすい街です。白河での研修に興味のある方はぜひ一度見学にいらしてください。



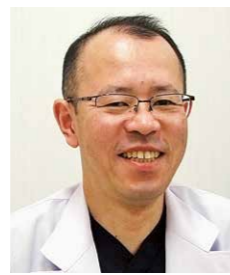
2021年10月より白河厚生総合病院で研修

センタースーパーバイザーおよび教員



■専門分野
生殖医学、周産期医学、生命倫理
■研究テーマ・成果
生殖生理学、再生医学、生殖内分泌、発生生物学
■主な学会活動
2007年 日本産科婦人科学会理事長（2011年まで）
2010年 日本生殖医学会理事長（2014年まで）
2011年 日本産科婦人科内視鏡学会理事長（2015年まで）
その他数多くの学会理事歴
■主な社会活動
2013年 一般社団法人吉村やすのり生命（いのち）の環境研究所代表理事
2013年 内閣官房参与（少子化対策・子育て支援担当）（2020年まで）

吉村 泰典
福島県立医科大学副学長
ふくしま子ども・女性医療支援センター
スーパーバイザー（非常勤）



■専門分野
生殖医療、生殖内分泌学、婦人科内視鏡下手術
■研究テーマ・成果
不妊症の診断・治療
卵子の老化に関する研究
多嚢胞性卵巣症候群の診断・治療に関する研究
小児・AYA世代がんサバイバーのヘルスケア
■主な学会活動
日本生殖医学会代議員
日本受精着床学会理事
日本卵子学会理事

高橋 俊文
センター長（教授）
産婦人科



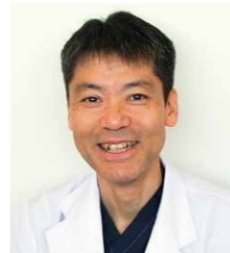
横山 浩之
教授
小児科

■専門分野
小児神経学
■研究テーマ・成果
子どもの行動異常（発達障害、精神障害）とそれに関わる教育・保健・福祉との連携
■主な社会活動
2022年 伊達市市政アドバイザー



西郡 秀和
教授
産婦人科

■専門分野
周産期医学、遺伝カウンセリング
■研究テーマ・成果
周産期環境と子どもの神経発達に関する研究、周産期メンタルヘルスに関する研究



神保 正利
特任教授
産婦人科

■専門分野
小児外科
■研究テーマ・成果
県外の大学産婦人科との連携システムの構築、災害時における産科医療の教育システムの開発



南 洋輔
特任助教
小児外科

■専門分野
小児外科一般
■研究テーマ・成果
再生医療、新生児外科学

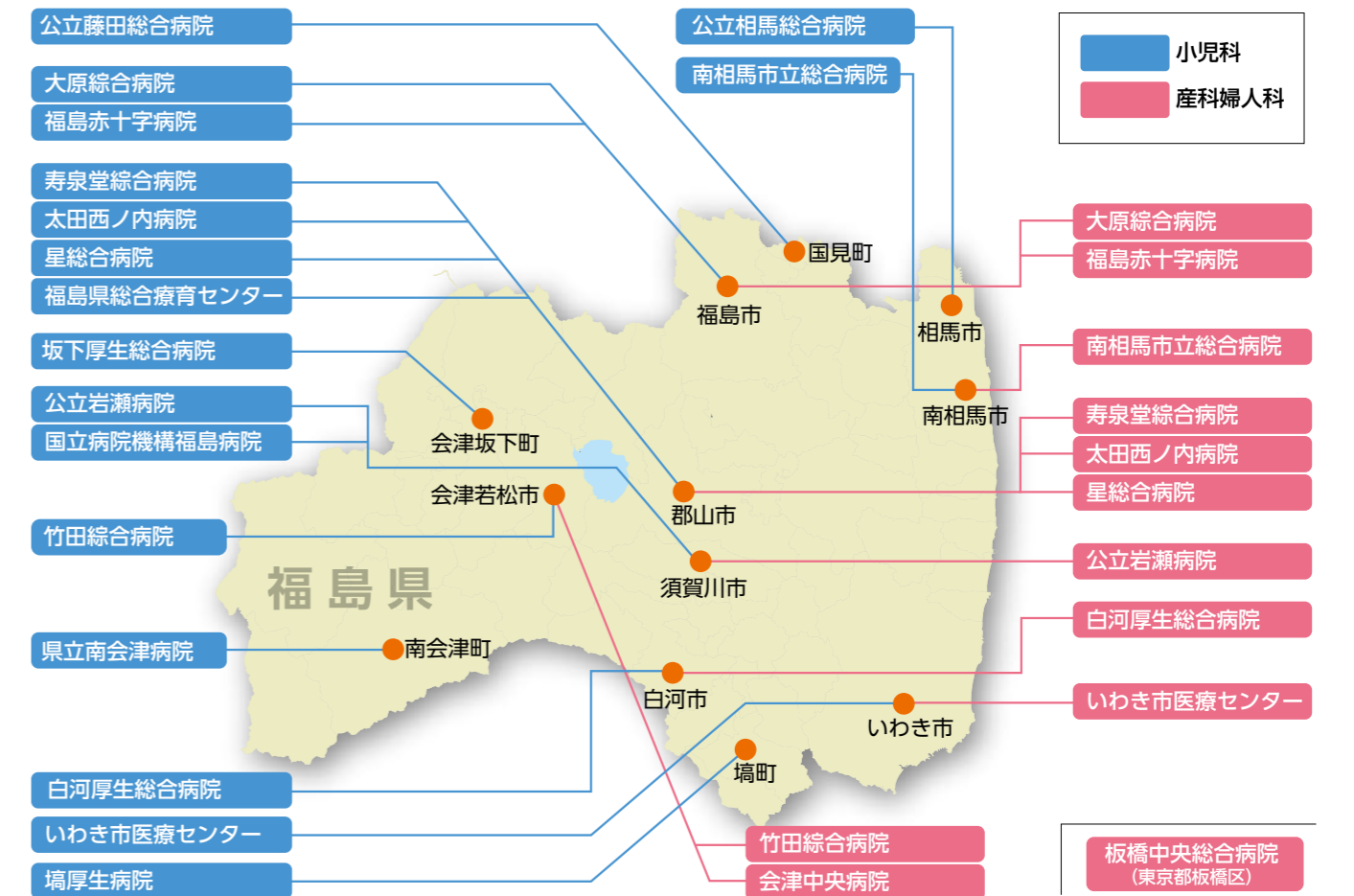
福島県の産婦人科・小児科医療の向上を一緒に目指しませんか



ふくしま子ども・女性医療支援センターでは、
福島県の子どもと女性の医療に貢献できる、
産婦人科医、小児科医、小児外科医を求めています。

猪苗代湖と磐梯山 [猪苗代町]

後期研修協力病院



清水 直樹 小児科
特任教授（非常勤）
■専門分野
小児科学、救命医学、集中治療医学、蘇生科学
■現勤務先
聖マリアンナ医科大学小児科学



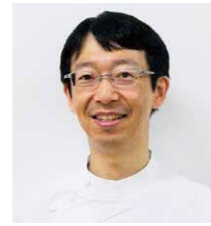
金森 豊 小児外科
特任教授（非常勤）
■専門分野
小児外科学、消化管免疫学
■現勤務先
国立研究開発法人国立成育医療研究センター小児外科系専門診療部外科



福島 明宗 産婦人科
特任教授（非常勤）
■専門分野
臨床遺伝学、周産期医学
■現勤務先
岩手医科大学医学部臨床遺伝学



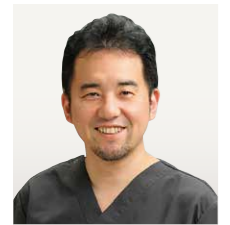
福井 淳史 産婦人科
特任教授（非常勤）
■専門分野
生殖医学・生殖免疫学・産婦人科・内視鏡手術
■現勤務先
兵庫医科大学産科婦人科



鈴木 大輔 産婦人科
特任講師（非常勤）
■専門分野
周産期救急、婦人科内視鏡下手術
■現勤務先
太田西ノ内病院産婦人科



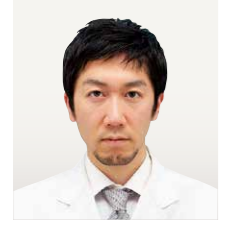
磯部 真倫 産婦人科
特任講師（非常勤）
■専門分野
婦人科腹腔鏡下手術、婦人科腫瘍、医学教育
■現勤務先
新潟大学医学部総合病院総合研修部・医療研修センター



新津 健裕 小児科
特任准教授（非常勤）
■専門分野
集中治療医学、小児科学、Critical Care Outreach
■現勤務先
埼玉県立小児医療センター集中治療科



齊藤 修 小児科
特任准教授（非常勤）
■専門分野
集中治療医学、麻酔科学、小児科学
■現勤務先
東京都立小児総合医療センター集中治療科



荻原 重俊 小児科
特任助教（非常勤）
■専門分野
集中治療医学、麻酔科学、小児科学
■現勤務先
手稲溪仁会病院小児科/小児集中治療科





福島の見どころ・うまいもの

広い県土を有する福島には、豊かな自然が育んだ数々の名所やうまいものがたくさんあります。



磐梯吾妻スカイライン

高湯温泉と土湯峠を結ぶ29kmの山肌を縫うように走る観光道路。季節ごとに変化に富んだ風景を見せてくれます。



諸橋近代美術館

サルバドール・ダリを中心に、19～20世紀の巨匠の作品を収蔵。四季ごとに美しい庭園を望むこともできます。



果物

福島は全国有数の果物の産地。サクランボ、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴなど四季を通して様々な果物を楽しめます。



日本酒

全国新酒鑑評会で、9回連続金賞受賞蔵数日本一を誇る酒どころ・福島。会津地方を中心に、美酒・銘酒が楽しめます。



円盤餃子

フライパンの形に合わせて餃子を丸く並べて焼くことから、「円盤餃子」と呼ばれています。小ぶりでお食べやすいのが特徴です。



アクアマリンふくしま

東北最大級の楽しく学べる体験型水族館です。潮目の海をテーマに800種類を超える生物を展示しています。



Jヴィレッジ

提供：株式会社Jヴィレッジ

サッカーのナショナルトレーニングセンターです。スタジアムのほか、ホテルやフィットネスジムも完備しています。



ラーメン

今や全国区となった喜多方をはじめ、白河、西会津味噌、裏磐梯山塩、郡山ブラックなど、個性豊かなラーメンが揃います。



温泉

飯坂、高湯、磐梯熱海、甲子、東山、中ノ沢、いわき湯本など県全域で様々な種類の温泉が楽しめます。



東北自動車道 福島西 I.C.より約13分、
福島松川スマート I.C.より約8分

JR福島駅東口バス乗り場(5番または6番ポール)より乗車、
バス 「医大病院」または「医科大学前」下車(約36分)



公立大学法人 福島県立医科大学
ふくしま子ども・女性医療支援センター

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 TEL 024-547-1385 FAX 024-547-1386
<https://www.fmu.ac.jp/home/fmccw/> E-mail fmccw@fmu.ac.jp

